

梶川小学校5年生 稲刈りを体験



10月11日（火）、梶川小学校5年生が稲刈り体験授業を行いました。春に江原國利さん（奥沢）、福島康雄さん（奥沢）、植松裕司さん（奥沢）、大久根宏さん（安戸）4名の講師の方々にご指導いただき、子どもたちが泥だらけになり田植えをした苗が大きく立派に育ち、たわわ

に実った稲穂を刈ることができました。

当日、子どもたちは江原さんの説明を熱心に聴き、楽しく稲刈り体験ができました。米づくりの大変さと喜びを体いっぱいを感じる体験ができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

♪ 東秩父村の学校給食 ♪

～ 9月9日（金）の献立 ～

実際の
給食



9月9日の給食は明日の十五夜をお祝いした「十五夜給食」です。

十五夜は、1年の中で月がもっとも美しく見える夜のことです。昔の暦である旧暦では、7月、8月、9月が秋でした。3か月ある秋の真ん中の8月15日が「十五夜」といわれ、秋の真ん中の日のことを「中秋」というので、この日の月は、「中秋の名月」とよばれます。

平安時代には、貴族たちが月を見て楽しみ、江戸時代になると、月を見るだけでなく、食べ物の収穫に感謝する「収穫祭」の意味も加わりました。収穫への感謝と豊作への願いを祈願するため

に、満月のような丸いだんごを供え、だんごを食べることで、健康と幸せが訪れるようにと願いました。そして、稲に似たすすきを飾ることで、米の豊作を願いました。また、9月頃に収穫される「芋」をお供えることから「芋の名月」とも呼ばれています。

9月9日は、月に見立てたゆで卵と、枝豆をすりつぶして作った「ずんだ」に団子を和えた『ずんだ団子』で1日早い十五夜をお祝いします。ちなみに「ずんだ団子」は宮城県の郷土料理です。

問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230